

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

支援センターだより

2012年1月 第11号



「犯罪被害者等早期援助団体」 2年目を迎え更なる進展を目指して

理事長 川上 耕

新年おめでとうございます。昨年は、東日本大震災と原発事故、また本県でも地震や集中豪雨など大きな災害に見舞われた一年でした。今年は、その復興や原発問題その他日本が直面する多くの難問の解決に向かう年に、そして犯罪被害者支援の活動が充実される年になってほしいと願っています。

さて、当センターは、平成21年3月に県内最初の公益社団法人の認定を受け、昨年3月には新潟県公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることができ、平成18年2月の発足以来6年目にして、目標としてきた体制が整いつつあります。

当センターは、民間の被害者支援の窓口となり、被害にあわれた方が、まずは当センターに相談をする、そこで、当センターとして可能なすべての支援を行い、弁護士・臨床心理士など専門家の支援が必要な案件ではその紹介をしながらサポートするなど、しっかりと被害者に寄り添った支援活動ができる体制作りをしていきたいと存じます。

支援活動について、昨年4月から12月までの実績は、電話相談、面接相談件数は合計127件で、概ね前年同期と同じでしたが、直接支援の件数は124件で、前年同期比+32件と大幅に増加しています。直接支援は、センターの担当支援員が、裁判所や検察庁、弁護士の事務所に付添同行するなど、被害者に寄り添ってサポートする活動ですが、早期援助団体の指定により警察の情報提供を受けて速やかな支援が行えるようになったため、殺人や強盗強姦などの重大事件の被害者支援が増える傾向にあります。

また、支援体制の面では、昨年1月に新潟県弁護士

会と、そして12月に新潟県臨床心理士会と、それぞれ協定を締結して、回数制限はあるものの、随時、無料の弁護士相談（場所は担当弁護士の事務所）、臨床心理士カウンセリング（場所は当センター）ができることになりました。また、6月には法テラス新潟との円滑な連絡体制も整い、被害者が必要とする支援体制の充実も着実に進んでいるところです。

更に、基盤整備の面では、民間団体・法人、個人の方の賛助会員、寄附のご支援や被害者支援自動販売機設置等の寄附ご支援による財政の充実も少しずつ進んでいます。

こうして、徐々にではありますが、当センターが犯罪被害者等早期援助団体に相応しい形に着実に進展してきており、これも、ひとえに皆様方のご支援の賜と感謝申し上げる次第です。

しかし、昨秋の新聞報道にもありましたとおり、当センターの存在や活動はまだまだ知られていない実情にあり、また、県民、地域社会の力で被害者を支えていく必要性についても十分に認知されていないのが現状です。当センターの人的・財政的な基盤はまだまだ脆弱で、広報啓発活動も不足しています。

今年は、犯罪被害者等早期援助団体として2年目を迎えて、直接支援などのニーズも増大し、これに応えるセンターの活動の質、量の充実が急務となると思われます。関係機関、団体のみなさんとより一層緊密な連携をとりながら、センター活動の更なる充実に取り組んでまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

話してみませんか あなたのせつない気持ち…

電話相談 025-281-7870 月～金曜10時～16時（祝日、年末年始を除く）

●面接相談は、原則予約必要

●秘密厳守・相談無料

平成23年度

「犯罪被害者週間」 国民のつどい新潟大会



開催日 平成23年11月26日(土) 午後0時40分～4時30分
会場 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通6 NEXT21ビル）
主催 内閣府、新潟県、新潟県警察本部、公益社団法人にいがた被害者支援センター
後援 新潟県被害者支援連絡協議会、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

基調講演 性犯罪被害にあうということ

講師：小林美佳氏 「性犯罪被害にあうということ」著者

小林氏が、2000年8月下旬の夜、帰宅途中に突然レイプされたことと、その直後から始まった家族、恋人等との人間関係や苦悩、及び、実名での書籍出版のこと、出版後の同様被害者や支援関係者等との交流とその拡大、並びに今後の支援の輪を広げるためのヒントなど、辛い体験にもかかわらず前向きに生きる貴重なお話を勇気を持って語られました。小林氏が最後に訴えられた「一人でも多くの方がこの問題に関心を持ち、今日のような会合に参加するなどして理解を深めていくことが、性犯罪被害者の支援の輪を広げていく大きな力になること」を肝に命じて、今後の被害者支援活動を推進して行く必要があることを強く感じました。

講演の間、会場内から時折すすり泣くような声が聞こえるなど、新潟市内の専門学校生40名以上の若人を含む約220名の参加者は熱心に聴き入っていました。



パネルディスカッション 性犯罪被害者支援を考える

パネリスト：小林美佳氏 「性犯罪被害にあうということ」著者
高野義雄氏 日弁連犯罪被害者支援委員会委員、弁護士
福井葉子氏 新潟県警部
中曽根えり子氏 公益社団法人にいがた被害者支援センター支援局長
コーディネーター：江口歩氏 新潟県元気大使、NAMARA代表

江口氏の進行で、各パネリストから小林氏の講演の感想と性犯罪被害者に対する支援について、それぞれが所属する警察、弁護士会及び当センターの取り組みの現状等が紹介され、会場で聴いていた専門学校生から「偏見を持たずにみんなで理解を深めていくことが大切」等の感想が述べられた。また、聴衆の民間女性支援団体の方から「支援の連携に参加したい」旨の発言があり、更に、各パネリストの「被害に遭った場合、72時間（3日）以内に緊急避妊薬を飲めば98%程度妊娠を避けられることや、病院の診断、緊急避妊措置、性感染症の検査等の費用を警察で負担出来る制度があること等の情報を広く周知することが重要」、「性犯罪被害者3000人の内、警察に相談したのは120人、その中で裁判までいった人は30人。性犯罪被害の約60%は顔見知りからの犯行」等の報告があり、これらのことから性犯罪被害の統計数字は氷山の一角であり、この問題の深刻さが浮き彫りになりました。

問題解決の方向性として、性犯罪被害者が声をあげることができ、被害者を皆で支えていく社会を実現するためには、国・県民の被害者支援意識を高める広報啓発、教育が重要で、そのために関係機関、団体等が相互に連携し、更にネットワークの輪を広げる必要がある」旨の結論に達し、会場内は大きな拍手に包まれました。



新潟県警察音楽隊コンサート

基調講演に先立ち県警音楽隊&カラーガード隊のコンサートが行われ、この日のために特別に用意したプログラムと心のこもった演奏・演技で聴衆の心を和ませ、アンコール終演と同時に場内割れんばかりの拍手に包まれ、心に染み入るコンサートでした。



パネル展示

会場ロビーにパネル展示コーナーが設けられ、当センターは、各種活動風景写真、ポスターや交通事故被害者遺族自助グループのご遺族から亡くなられた被害者に伝えたい気持ちを託した手紙を展示しました。来場者は、開・閉会前後や休憩時間を利用して時折係員に質問するなど展示資料に熱心に目をやる光景がみられ、被害者支援活動に理解が深まる催しとなりました。



「犯罪被害者週間」街頭キャンペーン

大会1週間前の11月19日(土)、新潟市内の古町、万代地区の繁華街2ヶ所で、新潟県、新潟県警察本部、当センターが共同で、国民の集いチラシや当センターのリーフレット等を通行人に配布し、大会本番に繋がりました。



..... 平成23年度年間活動報告

| | |
|-----------------|--|
| 4月10日 | イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン助成金贈呈式出席 |
| 4月12日 | 継続講座 |
| 4月12日 | イオンがんばろう日本キャンペーン協賛団体広報活動参加 |
| 4月18日 | 採用時養成講座の広報活動～新潟市中央、東、西区役所 |
| 4月27日 | 定時理事会 |
| 5月15日 | 自助グループ支援活動～新潟ユニソンプラザ |
| 5月17日 | 継続講座 |
| 5月25日 | 定時社員総会・顧問5名再任 |
| 6月3日 | 採用時養成講座・開講式 |
| 6月8日 | 県主催犯罪被害者支援対策担当者研修聴講 |
| 6月9日 | 秋葉警察署被害者支援連絡協議会総会講演 |
| 6月10日 | 採用時養成講座 |
| 6月14日 | 継続講座 |
| 6月17日 | 採用時養成講座 |
| 6月24日 | 新潟県警交通事故事件捜査指導担当者等1日研修講義 |
| 6月29日～ 6月30日 | ベシックプロジェクト研修2名参加～水戸市 |
| 7月1日 | 採用時養成講座 |
| 7月1日～ 7月2日 | 関東・甲信越ブロック研修 支援活動員3名参加～甲府市 |
| 7月5日 | 広報誌「支援センターだより第10号」発行 |
| 7月8日 | 採用時養成講座 |
| 7月10日 | 自助グループ支援活動～新潟ユニソンプラザ |
| 7月11日 | イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン広報啓発活動 |
| 7月12日 | 継続講座 |
| 7月12日 | 県民交通安全大会（交通安全フェア）にて広報啓発活動 |
| 7月19日 | ロータリークラブ幹部表敬訪問～上越市 |
| 7月22日 | 採用時養成講座 |
| 7月23日 | 夏の交通事故防止運動啓発イベントにて広報啓発活動 |
| 7月26日 | 民間団体・事業所への広報啓発活動～新潟市 |
| 7月29日 | 民間団体・事業所への広報啓発活動～新潟市 |
| 7月29日 | 採用時養成講座 |
| 8月3日 | 新潟地区被害者支援連絡協議会総会講演 |
| 8月5日 | 採用時養成講座 |
| 8月8日 | ハート館実務研修生来所講義 |
| 8月9日 | 継続講座 |
| 8月12日 | 採用時養成講座 |
| 8月19日 | 採用時養成講座 |
| 8月19日 | 上越ロータリークラブにて広報啓発活動 |
| 8月26日 | 採用時養成講座 |
| 8月27日 | JAFチャイルドシートチェックアップイベントにて広報啓発活動 |
| 9月1日 | 犯罪被害者週間国民のつどい新潟大会事前打合せ出席 |
| 9月2日 | 採用時養成講座 |
| 9月4日 | 自助グループ支援活動～新潟ユニソンプラザ |
| 9月8日 | 新潟県被害者支援連絡協議会広報部会出席 |
| 9月9日 | 採用時養成講座 |
| 9月11日 | イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン助成金贈呈式出席 広報活動 |
| 9月13日 | 継続講座 |
| 9月16日 | 採用時養成講座 |
| 9月20日 | 直江津ロータリークラブにて広報啓発活動 |
| 9月21日 | 中条ロータリークラブにて広報啓発活動 |
| 9月25日 | 犯罪被害者週間国民のつどい新潟大会におけるパネル展示の 自助グループ検討会 |
| 9月28日 | 支援活動員選考委員会による支援活動補助員面接・委員会 |
| 9月29日 | 白根ロータリークラブにて広報啓発活動 |

| | |
|-------------------|---|
| 9月30日 | NPO法人全国被害者支援ネットワーク全国フォーラム 支援活動員6名参加 |
| 10月1日～ 10月2日 | 同上秋期全国研修・支援活動員6名参加～東京都 |
| 10月3日 | 新潟県警被害者支援専科生視察 |
| 10月5日 | 江南地区交通安全大会にて広報啓発活動 |
| 10月6日 | 越後春日山ロータリークラブにて広報啓発活動 |
| 10月14日 | 新潟県警交通指導係長研修会講義 |
| 10月16日 | "みんなで防犯安全安心なまちづくりIn上越2011 広報啓発活動（上越市依頼）" |
| 10月17日 | 新潟県安全・安心なまちづくり県民大会にて広報啓発活動 |
| 10月18日 | 継続講座 |
| 10月19日 | 新潟市安心安全なまちづくり市民大会にて広報啓発活動 |
| 10月20日 | 東日本大震災義援金募金をセンター員から募り （発災後～10月）贈呈 |
| 10月21日 | 直接支援研修 |
| 10月25日 | 小出警察署被害者支援連絡協議会講演 |
| 10月25日～ 10月26日 | 自助グループ研修・支援活動員2名参加～東京都 |
| 10月28日 | 第2回定時理事会 |
| 10月29日 | 秋葉区歩行者天国ハロウィン祭にて広報啓発活動 |
| 11月7日 | 高田東ロータリークラブにて広報啓発活動 |
| 11月8日 | 継続講座 |
| 11月8日 | 暴力・銃器根絶県民大会広報啓発活動（県警依頼） |
| 11月13日 | 自助グループ支援活動～新潟ユニソンプラザ |
| 11月15日 | 小千谷・川口地区被害者支援ネットワーク総会講演 |
| 11月16日 | 魚沼市老人クラブ連合会女性研修会広報啓発活動（県警依頼） |
| 11月17日 | 南魚沼警察署被害者支援連絡協議会講演 |
| 11月18日 | 新発田市飲酒運転根絶・高齢者事故防止大会にて広報啓発活動 |
| 11月18日 | 県被害者支援連絡協議会総会出席 |
| 11月18日 | 直接支援研修（県被害者支援連絡協議会総会講演受講代替） |
| 11月19日 | 犯罪被害者週間協賛街頭キャンペーン |
| 11月21日 | 県安全安心なまちづくり推進協議会定期総会出席 |
| 11月22日 | 柏崎警察署被害者支援連絡協議会総会講演 |
| 11月26日 | 犯罪被害者週間国民のつどい新潟大会 県民220名参加 |
| 12月1日 | 長岡警察署被害者支援連絡協議会講演 |
| 12月12日 | 県被害者支援連絡協議会性被害専門部会出席 |
| 12月13日 | 継続講座 |
| 12月14日 | 胎内警察署被害者支援連絡協議会総会講演 |
| 12月16日 | 県臨床心理士会との臨床心理士紹介に関する協定締結式 |
| 12月16日 | 直接支援研修 |
| 12月19日 | 県警本部長を表敬訪問 （県地域統括ロータリークラブ幹部同席） |
| 1月15日 | 自助グループ支援活動～新潟ユニソンプラザ |
| 1月17日 | 継続講座 |
| 1月21日～ 1月22日 | 関東・甲信越ブロック研修 支援活動員3名参加～長野市 |
| 1月27日 | 直接支援研修 |
| 1月30日～ 1月31日 | 全国コーディネーター前期研修 支援活動員1名参加～東京都 |
| 2月4日 | 県警音楽隊定期演奏会にて広報啓発活動 |
| 2月8日 | 新潟南ロータリークラブにて広報啓発活動 |
| 2月14日 | 継続講座 |
| 2月17日 | 直接支援研修 |
| 3月11日 | 自助グループ支援活動～新潟ユニソンプラザ |
| 3月13日 | 継続講座 |
| 3月15日 | 臨時理事会 |

* 1月以降は予定。

T O P I C S

県臨床心理士会と協定 ～無料カウンセリング開始～

犯罪や交通事故の被害者等の抱える様々な悩みや問題解決のために臨床心理士によるカウンセリングが必要な場合、これまでは有料での臨床心理士紹介を行っていましたが、支援の更なる充実を図るため、去る12月16日に県臨床心理士会との間で「臨床心理士の紹介に関する協定書」を締結しました。

これにより、臨床心理士のカウンセリングを必要とする被害者等に対し、新たに無料カウンセリング（3回上限）を行うことになりましたので、犯罪被害等でお悩みの方には更に安心して相談していただけるものと思います。

皆様の身近に該当される方がおられましたら、まずは、当センターへ電話相談（電話025-281-7870）されるようお勧めください。

**賛助会費・寄附金が税額控除の対象**

～公益社団法人等の公益活動の促進のため租税特別措置法改正～

当センターは、平成23年11月14日 税額控除対象法人として認定されました。

当センターへの賛助会費、寄附金は、従来から、団体・法人、個人を問わず特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄附優遇措置の対象になっています。

今回新たに、税額控除対象法人として認定されたことにより、**個人**の方からの賛助会費、寄附金は、確定申告の際、従来の所得控除制度と新たな税額控除制度のいずれかを選択することが可能になりました。税額控除制度を選択した場合は、賛助会費、寄附金の一定額が所得税年額から控除されます。

○計算式：（税額控除対象寄附金（賛助会費含む）－2,000円）×40％＝控除対象額 *注

*注：控除対象額が所得税額から控除される。（限度額は所得税額の25％）

お問い合わせ先：当センター事務局 TEL 025-281-2131

ポスター掲出のご協力者募集！

当センターが犯罪被害者等早期援助団体の公安委員会指定を受けたことを機に、潜在化している被害者等を掘り起こすことや被害者等の方々に寄り添い、1日も早い被害回復等と被害者等を社会全体で支える地域づくりを目指して、新たに当センターのポスターを作りました。

一人でも多くの人々の目にふれる場所に掲出するため、現在、ポスター掲出にご協力いただける団体・法人などの皆様を募集しています。

趣旨にご理解・ご賛同いただき、是非ご協力をお願いいたします。

当センター事務局までお電話ください。 TEL 025-281-2131

**支援活動員の育成研修 ～採用時養成講座実施～**

新たな人材を育成するため、昨年6月から9月までの間、支援活動員の採用時養成講座として計15回45単位の基礎的研修を行いました。10名の方が受講され、最終的に6名の方を支援活動補助員として登録し、4月の支援活動員採用を目指して、現在、センターで約半年間の実務研修に励んでいます。



被害者支援自動販売機 (三国コカ・コーラボトリンググループ様設置) によるご支援のお礼とお願い



にいがた被害者支援センターの行う活動に賛同し、財政基盤の確立を図るための社会貢献活動として、三国コカ・コーラボトリング様から、清涼飲料の被害者支援自動販売機の売上金の一部を当センターに寄附するご支援をいただいています。

当センターでは、この趣旨に賛同して、新規に被害者支援自動販売機の設置協力をしていただける事業所・団体様を広く募集しています。是非、ご協力をお願いいたします。

(ご連絡は、センター事務局まで。TEL 025-281-2131)

現在までの設置ご協力事業所・団体様は次のとおり。

(平成23年12月31日現在)



●民間事業所・団体

田中産業(株)、田中運輸機工(株)、(株)草間組、雄志レジデンス、(株)新潟文化自動車学校、土田商店、(有)オービット、(有)大伸通信、(有)瀬戸川工業所、TLC甲信越(株)、医療法人青山信愛会新潟信愛病院(ワタキューセイモア(株))、涌井建設工業(株)、(有)ランドマーク、(有)光和建装工業、(株)ケー・ピー24、(株)共同建設、(株)松崎木工所、新潟県ロードサービス(株)ガレージプロセス、エックスレンタカー、(有)上越ケミカル、(株)サンメタル、新潟大学前駅駐車場

●県 警

運転免許センター、交通機動隊、機動隊、警察学校小千谷署、糸魚川署(株)まつき)、上越署、燕署三条署、新発田署、村上署(酒道楽工藤)、新潟北署小出署、南魚沼署、津川署(石井商店)、秋葉署五泉署、佐渡西署、佐渡東署、新潟中央署、新潟江南署、新潟西署、西蒲署、新潟東署、長岡署新潟南署、十日町署、柏崎署

イオン幸せの黄色いレシート キャンペーンのご協力お願い



毎月11日にイオン新潟南ショッピングセンターで買い物され、レシートを店内各所に設置された投函コーナーの当センターボックスに投函していただきますと、レシート金額の1%相当額の物品がイオンリテール(株)様から当センターへ寄贈されます。当センターでは、これを支援活動等の事務用品購入などに有効活用させていただきますので、皆様ご協力をお願いいたします。



上杉香緒里チャリティーディナーショー 開催によるご支援

当センターの行う活動に賛同し社会貢献活動として、県内に高級婦人服や服飾雑貨等の小売店を手広く展開する(有)ケー・ケーエンタープライズ（新潟市中央区）「かざまグループ」様から、被害者支援活動等に役立ててほしいと寄附によるご支援をいただきました。これは、平成23年2月26日(土)新潟グランドホテル（新潟市中央区）において、燕市出身の演歌歌手「上杉香緒里チャリティーディナーショー」を主催し、趣旨に賛同して集まった300名を超える皆様のご協力による収益の一部だそうです。

お礼申し上げますとともにご紹介いたします。



顧問名簿

| | |
|-------|-----------|
| 泉田 裕彦 | 新潟県知事 |
| 大庭 靖彦 | 新潟県警察本部長 |
| 篠田 昭 | 新潟市長 |
| 森 民夫 | 新潟県市長会 会長 |
| 渡邊 廣吉 | 新潟県町村会 会長 |

役員名簿

(五十音順)

| | | |
|------|---------|--|
| 理事長 | 川上 耕 | 弁護士 |
| 専務理事 | 武井 楨次 | 元新潟大学人文学部教授 |
| 理事 | 運上 司子 | 新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科教授 |
| 理事 | 大島 照美子 | (財)新潟県女性財団理事長 社会福祉法人 |
| 理事 | 澁谷 志保子 | 新潟いのちの電話 事務局長 |
| 理事 | 関 昭一 | 新潟青陵学園理事長 |
| 理事 | 高野 義雄 | 弁護士 |
| 理事 | 橘 玲子 | 新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科教授 |
| 理事 | 中曽根 えり子 | 公益社団法人 にいがた被害者支援センター 支援局長 交通事故被害者遺族 |
| 理事長 | 長塚 康弘 | 新潟大学名誉教授・ 新潟心理学会会長 |

| | | |
|----|---------|---------------------------------|
| 理事 | 野口 祐郁 | 新潟県弁護士会 犯罪被害者支援対策委員会 副委員長 |
| 理事 | 長谷川 まこと | 新潟県精神科病院協会会長 |
| 理事 | 渡部 透 | 新潟県医師会会長 |
| 監事 | 金子 英明 | 税理士 |

正会員名簿

(平成23年12月31日現在、順不同)

団体正会員

新潟県市長会、新潟県町村会
新潟県精神保健福祉協会、新潟県弁護士会
新潟県精神科病院協会、財団法人新潟県交通安全協会
新潟県医師会、学校法人新潟青陵学園
関東信越税理士会新潟県支部連合会

個人正会員

藤巻強生、武井楨次、大木満子、宇田正、遠藤和成
甲野勝機、青山勝二、小濱恵子、稲餅武雄、吉井禮子
伊藤末松、大竹玲子、中野節子、二木宏、藤田正行
中村協子、中曽根えり子、中嶋久美子、横瀬功
澁谷志保子、津野恒子、小熊シツ子、池田久美子
山後晴雄、齋藤隆、高野義雄、高橋正利、野上博
渡部直子、貝瀬尚久、近藤麻美子、長塚康弘、運上子
黒川登、太田信子、平尾公子、川上耕、星野理香
大島照美子、瀧澤尚以、橘玲子、金子英明、饒村悠子
島典子、北山桂子、真壁伍郎、角一洋子、匿名希望1名

協力者御芳名 (平成23年4月～12月) 順不同・敬称略

ご協力ありがとうございました。
今後ともご協力をお願い申し上げます。

団体賛助会員

村上市岩船郡医師会、NURC、NJMグループ、(有)セーフ・エス新潟県司法書士会、アドリテム司法書士法人、社団法人新潟県バス協会、財団法人新潟県自動車練習所、(株)古田組、社団法人新潟県安全運転管理者協会、(株)たいよう共済新潟支店新潟県警友会連合会、財団法人柏崎地区交通安全協会、自動車安全運転センター新潟県事務所、社団法人新潟県歯科医師会、社団法人新潟県商工会議所連合会、(株)勝島経営研究所ビジネスカツシマ、三条市医師会、医療法人谷澤整形外科クリニック、新潟県民共済生活協同組合、新潟総合警備保障(株)、マルソー(株)、ネットヨクヤ越後(株)、羽深産業(有)、社団法人新潟県警備業協会、セコム上信越(株)、(株)東光クリエート(株)あんフーズ新潟、新潟中央自動車学校、財団法人十日町地区交通安全協会、(株)渡大組、(株)一印上越魚市場、(有)石倉製麺所、謙信堂環境・設備(株)、新潟県電気工事工業組合新潟県自動車販売店協会、(有)新潟輸入タイヤ販売、社団法人見附市南蒲原郡医師会、岩淵浩法律事務所、越後交通(株)

個人賛助会員

中村光春、市嶋範恵、武井みよ子、原田守・由紀、佐々木孝・しづか、埴田忠嗣、大塚智恵子、小田中明子、西脇和子、佐原菅一、嵯峨トシ、和泉澤貞子、石川伊作、栗山英雄・祥子、神立秀明、石原護、押見清雄、丸山敬治、丸山誠野口祐郁、金子哲、大湊弘幸、櫻井英喜、小島一則、小林光一、金子和子、猪又勝、田中克幸、宮澤正雄、堀博、澁谷信後藤直樹、江森謙太郎、小池進吾、青柳芳郎、田下厚子、半藤千枝子、大橋威、こども医院はしもと橋本謹也、金子直樹、野上信子、半戸哲夫、五十嵐涼子、関洋一、鈴木俊、藤沢直子、遠藤記恵子、長谷川進、櫻井春夫、中澤泰二郎、灰野博、今井千恵子、吉井美和子、須貝恵吉、渡辺逸郎、斉藤洋子、鶴巻信朗、長谷川虹兒、吉田耕二、大倉憲吾、小野寺利信、西脇秀樹・圭子、岸本正智、築井一琢、池田正友、樺沢正、佐野實、渡辺雅直、田辺章雄、加地正樹、村山和子、永倉税、片桐敏栄、永崎久人、酒井正昭、藤田善六、佐藤幸示、山崎幸雄、高野優子、高野雅史、反町健二郎、田中稔、塩谷洋、石塚誠一、伊藤基子、渡部信子、武村真理、丹野あい子、佐野稲子、大島栄一、高岡光夫、五十嵐久、伊藤義信、藤田美代、松岡キヨ、本間武志、渡辺茂子、小田部正美、佐藤敏子、相澤市郎、岡田茂憲、田村いずみ、根津明子、小熊力、大矢傑、本田恭子、小林澄江、滝本友子、滝澤テル子、諸橋義知、高橋節子、外立正紀、小田昇、宮崎正夫、吉野美穂子、田中和雄

吉越義雄、金田正一、池田浩、古川明子、皆川和秀、小林澄夫、新開貴夫、塩坪恭平、金澤省子、大浦研二、金子修、田中宏子、櫻井英喜、小出俊彦、永井夏美、鬼島基伸、匿名希望1名

公安委員会・県警賛助会員

公安委員会・警察本部 新潟県公安委員会、新潟県警察本部長、機動隊、刑事総務課、交通規制課、教養課、機動捜査隊、捜査第一課、交通企画課、厚生課、警備第二課、生活保安課、情報管理課、交通指導課、留置管理課、新潟県警察学校、生活安全企画課、会計課、広報広聴課、監察官室、通信指令課、鑑識課、科学捜査研究所、総務課、捜査第二課、装備施設課、捜査第三課、地域課、鉄道警察隊、警務課、外事課、交通機動隊、運転免許センター、警備第一課、高速道路交通警察隊、組織犯罪対策第一課、組織犯罪対策第二課、情報通信部、少年課

警察署 村上署、小出署、津川署、佐渡西署、燕署、糸魚川署、阿賀野署、長岡署、新潟南署、柏崎署、小千谷署、新潟北署、妙高署、上越署、見附署、秋葉署、新潟西署、新潟東署、佐渡東署、江南署、五泉署、与板署、新潟中央署、胎内署、加茂署、西蒲署、新発田署、南魚沼署、三条署、十日町署

寄附者

武井慎次、新潟県警察学校初任科373期短期学生一同、イオンリテール(株)、甲野勝機、三国コカ・コーラボトリング(株)新潟支社、三国フーズ(株)新潟営業所、村松緑、和田武次、中曾根豊、佐藤直美、中嶋久美子、広川郁夫、神立秀明、押見清雄、丸山敬治、高野義雄、大湊弘幸、山本千鶴、藤田美沙、五十嵐広幸、司法書士小出行雄、飯塚真理子、小山晴代、運上司子、中澤泰二郎、川上耕、大道寺雅夫、弁護士法人砂田徹也法律事務所、丸山昌治、金子一郎、酒井正昭、司法書士法人しばた法務事務所、新潟県警察学校初任科第371期長期一同、村山純恵、塩谷洋、渋谷和子、佐野稲子、熊林薫、高野・星野法律事務所、山本陽子、中嶋孝司、佐藤敏子、星野理香、山崎堅輔、白根ロータリークラブ、小湊文隆、新潟県警察学校初任科第374期短期卒業生一同、藤田明仁、吉野美穂子、医療法人社団太白会田辺医院、(株)オアシス稲葉摩利子、佐藤敏彦、植木ひろ子、阿賀町安全安心大会実行委員会、山崎定男、井口睦子、藤村真琴、野口祐郁、塩坪恭平、北山桂子、金子修、坂上富男、長谷川進、藤巻元雄、弁護士法人新潟第一法律事務所、高野毅、船崎昌幸、藤田善六

*誤字・脱字等がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

税法上の優遇措置について

当センターへの賛助会費、寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄附優遇措置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除制度の対象になります。

賛助会員募集・寄附金のお願い

当センターの活動は、皆様の賛助会費や寄附金に支えられています。皆様の温かいご支援をお待ちしています。

年会費 ●個人会員／1,000円 ●団体会員／10,000円

※一口以上何口でも加入いただけます。

お振込先(郵便振替口座)

- 口座名義：公益社団法人 いがた被害者支援センター
- 口座記号番号：00530-1-84482

支援センターだより 第11号(平成24年1月)

編集・発行：公益社団法人

にいがた被害者支援センター

事務局：〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3

新潟ユニゾンプラザハート館

TEL・FAX 025-281-2131

E-mail:nvsc7870@able.ocn.ne.jp

http://www5.ocn.ne.jp/nvsc7870/